

3 用語解説

ECサイト

Electronic Commerce Site（電子商取引サイト）の略です。
インターネット上で商品やサービスを売買するためのウェブサイトのことを指します。

GAP

Good Agricultural Practice の略で「農業生産工程管理」と呼ばれています。
農業生産の各工程で計画・実施・記録・点検・評価を行うことによる持続的な改善活動であり、食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保等に資するとともに、農業経営の改善や効率化につながる取組です。

グリーン・ブルーツーリズム

緑豊かな農山漁村に出かけ、農家民宿などに滞在し、地域の農林水産業・文化・自然を体験したり、地元の人々との交流を楽しむ余暇活動のことです。
日帰りのできる農林漁業体験や、直売所での地産地消の取組なども含まれます。
一般的には「グリーン・ツーリズム」と呼ばれますが、千葉県では三方を海に囲まれた自然環境を活かし、農林と水産が一体となって推進するという意味を込めて「グリーン・ブルーツーリズム」と称しています。

荒廃農地

耕作放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地のことです。

高病原性鳥インフルエンザ

鶏に対して伝染力が強く、死亡率の高い伝染病です。

コントラクター

農作業や農業機械の運転などを専門的に請け負う組織や個人（請負業者）のことです。

集落営農組織

集落内の農家が、農業生産の全部または一部を共同で実施する営農組織のことです。

飼料用米

鶏や豚などの家畜の飼料として利用される米のことです。

森林環境譲与税

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を目的として、市町村が実施する森林整備などに必要な財源を確保するために創設された制度です。

スマート農業

ロボット、AI、ICT、IoTなどの先端技術を活用し、生産性向上や人手不足の解消を目指す農業です。

DX

デジタルトランスフォーメーションの略称です。データやデジタル技術を駆使して、業務効率化や生産性向上だけでなく、流通や販売、経営管理等ビジネスモデルそのものを革新し、持続可能性の確保を目指す取り組みです。

TMRセンター

乳牛の飼料（エサ）を一括して製造・配送する施設です。

特定外来生物

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき、生態系や人の生命、農林水産業に被害を及ぼすおそれがあるとして指定された海外由来の生物です。輸入・販売・飼育・栽培・運搬などが禁止されています。

農業水利施設

農地に農業用水を供給する用水施設（ダム、ため池、揚水機場、用水路など）や、排水を下流に流す排水施設（排水機場、排水路など）のことです。

農商工連携

中小企業者と農林漁業者が連携して行う新商品・新サービスの開発などを指します。

農村RMO

「農村型地域運営組織」の略称。高齢化・人口減少が進む農村地域で、複数の集落が連携し、農業維持と生活支援を一体的に行うことを目的として設立される組織のことです。

農地の集積・集約

農地の集積とは、農地の所有や借入れにより、利用面積を拡大すること。
農地の集約とは、農地の利用権交換などにより、効率的に作業が行えるように配置を整えること。

HACCP（ハサップ）

原材料の受入れから製品完成までの各工程で、微生物汚染や異物混入などの危害要因を分析し、重要な管理点（CCP）を継続的に監視・記録する衛生管理システムです。

房総ジビエ

県内で捕獲され、県内の食肉処理施設で適切に処理・加工されたイノシシやシカの肉のことです。

有機農業

化学合成肥料や農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も使わないことを基本とし、環境負荷をできる限り低減する農業方法です。

ライブコマース

動画のライブ配信（Live）とネット通販（E-commerce）を掛け合わせた販売手法のことです。

6次産業化

農林漁業者（一次産業の担い手）が、加工（二次産業）や販売・流通（三次産業）にも取り組み、生産物の高付加価値化や経営の多角化を図ることです。
